学校番号	３０８

平成３１年度　芸術科（美術）

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校生の美術１（日本文教出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・感じ取る、感じ取ったことから考える、目的や機能から考える、考えたことを表現することについて学習します。
・一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。違った見方を「鑑賞」で共有すると、また更に広がったり深まったりします。

２　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて感じ取ったことや考えたことを軸にして、目的や機能に合わせた良さや美しさを考えて、個性的・機能的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な造形感覚や技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を創意工夫し、計画的に表現している。	美術文化などを理解し、美術作品などの表現の工夫について想像力を働かせて価値や美意識を感じ取りその良さを創造的に味わっている。
評価方法	制作中の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	制作中の様子 ワークシート アイデアスケッチ 作品	制作中の様子 ワークシート 作品	制作中の様子 ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	美術ってなんだろう	【鑑賞】 ・オリエンテーション 教科書等を鑑賞し、多様な表現形式について学び、「美術Ⅰ」の学習イメージを持つ。 ・ 自分の手をスケッチする。 ・ 気になる作品を一つ選び、その作品について独自の解釈で批評・紹介文を書く。	○ ○ ○	○ ○	○	○ ○	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 b: 感じたことを他者へ伝えるための工夫をしている。また、対象を見つめて、形体や質感の特徴をつかみ、構成などを工夫している。 c:鉛筆の特性を生かし、細密に表現している。 d:美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化ついての理解を深めている。	学習活動の様子 制作の様子 作品 ワークシート
	色と絵の具のことを知ろう	[デザイン][鑑賞] ・色彩基礎 色彩の基礎とアクリル絵の具の特性を学び、実際に色相環を制作する。	○		○	○	a:色彩や形態がもたらす効果について関心を持ち、それらを生かして構想を練ったり、表現したりしようとしている。 c:アクリル絵の具の特性を理解し、表現方法を工夫して表現している。 d:歴史や社会の中で育まれた色のイメージや効果を理解し、その良さを味わおうとしている。	ワークシート 作品
	マイマークをつくろう	【デザイン】[鑑賞] ・様々な企業ロゴやマークを鑑賞する。 ・マークデザイン 画用紙にアクリル絵の具で着色する。 自分のイメージに合うように名前を使ってデザインし、明度・彩度・配色・構成等を工夫し表現する。 ・相互鑑賞	○ ○ ○	○	○	○ ○	a:テーマを元に人物＝自己を表現することに関心を持ち、形や色彩などの働きを考えながら構想を練ったり、表現したりしようとしている。 b:条件や美しさとなどから、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c:アクリル絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している。 d:良さや美しさ、表現の工夫について感じ取り、作品についての理解を深めている。	制作の様子 アイデアスケッチ 作品 鑑賞の様子 ワークシート

2学期	展覧会へ行こう！	【鑑賞】 ・夏季休暇中に各自で展覧会に赴きレポートを書く。 ・必要に応じて作品や技法・年代について調べる。	○			○	a:様々な美術の表現に関心を持ち、作者の心情や制作意図について理解しようとしている。 d:伝統的な美術表現や現代美術の特質や様式、同世代の表現について理解を深めている。	ワークシート
	自分だけの風景を描こう	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・ 遠近法・透視図法を学ぶ ・学校内で遠近法を生かすことの出来る描きたい場所を見つける 　描きたいイメージに合わせてアクリル絵の具で背景色を着色する 　背景を着色した画用紙に実際の風景を見ながら形を写し取り、制作を行う。 ・相互鑑賞	○ ○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:遠近法。透視図法をつかって表現することに関心を持ち主体的に創造・表現活動に取り組もうとしている。 b:遠近表現による効果や素材の特性を生かそうとしたり、構図、色彩などを工夫したりして表現の構想を練っている。 c:絵の具、用具などの特性を生かし表現方法を工夫して、目的や計画を基に表現している。 d:作者の意図や表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、作品などについて理解を深めている	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 鑑賞活動の様子や発言内容 鑑賞ワークシート 作品
	迷い込んだわたし	【絵画・彫刻】[映像メディア表現]【鑑賞】 ・自分の姿が入ったコラージュ作品を制作する。 　様々な参考例や写真を鑑賞して、自分が言ってみたい場所や入って見たい世界を考える。 　アイデアを元に様々な画像を教科書や雑誌から切り抜く。 　イメージに合うポーズの自画像写真を撮る。 　切り抜いた素材を構成して紙に貼り合わせる。 ・相互鑑賞	○ ○	○	○	○ ○	a:過去の作家の超現実的世界の表現や既存モチーフの組み合わせで出来るコラージュによる表現に関心を持ち、表現や鑑賞活動に主体的に取り組もうとしている。 b: テーマを基に感性や想像力を働かせて、自己の内面を見つめて感じ取ったことや考えたりして、表現形式の特性を生かし、形体、濃淡、構成などを工夫して表現の構想を練っている。 c:技法の特性を生かし、構図や表現方法を工夫して表現している。 d:発想のよさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めている。	制作の様子 アイデアスケッチ 作品 鑑賞の様子 ワークシート

3学期	石膏プリントで作ろう	[絵画・彫刻][鑑賞] ・版画の基礎 ・前回作ったコラージュをもとにして凹版画の応用である石膏プリントを制作する。 コラージュした絵を白黒に置き換えて、プラ板をニードルで点描や線描で削る。 インクを詰めて、石膏を流し込む。	○ ○	○	○	○ ○	a:版画の特性や多様で独特な表現について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:表現形式を生かして、濃淡、描画方法・構成について、創造的な表現の構想を練っている。 c:技法の特性を生かして、意図に応じた創意工夫をした表現をしている。 d:作者の心情や意図、表現の工夫などを感じ取り、その良さや美しさについて理解を深めている。	学習活動の様子 制作の様子 作品 ワークシート
	絵を引き立てる額を作ろう	[絵画・彫刻][デザイン][鑑賞] ・前回作った石膏プリント作品に合わせた額の彫刻を制作する。 額だけが独立しないように版画の内容に合わせてより引き立てるアイデアを寝る。 紙粘土で基底材に盛り付け必要に応じて彫刻等などで削ったりやすりをかけたりする。 アクリル絵の具で着色する。 ニスを塗る。 版画を額に取り付ける。 ・相互鑑賞	○ ○	○	○	○ ○	a:目的を基に、紙粘土の特性を生かして半立体的に表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:額としての役割、機能、美しさから主題を決め、素材の特性や形、色彩の働きを考えて表現の構想を練っている。 c:意図に応じて、素材、用具の特性を理解し、効果的な表現方法を創意工夫して表現している。 d:作者の意図や表現の工夫を読み取り、作品の良さや美しさについて理解を深めている。	制作の様子 アイデアスケッチ 作品 鑑賞の様子 ワークシート

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）
の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。